

①取組主体

名称 : 木屋平花卉生産会
担当窓口 : 担当者 浦 喜一
住所 徳島県美馬市木屋平

団体等の種類 : 農林漁業者
構成員数 : 8人
活動内容を紹介するHP, 情報誌等の有無 : 無

②連携している団体等の有無 : 有

→ (有の場合) 連携している団体の属性 (複数回答可, 主な団体等のみ) :
徳島県、美馬市、学校

③取組地域 徳島県美馬市木屋平

④取組開始時期・経緯 (動機含む)

開始時期 : 平成5年

経緯 : 子供たちに地元の産業を身近に触れてもらい, 地元への理解を深めてもらうため, 「簡単で楽しみながらできる体験学習」として, 地元で栽培されている花を使ったフラワーアレンジメント教室を実施するようになった。

⑤目的 (目標)

フラワーアレンジメント体験を通じて「地場産物への理解」, 「自然の恵みや勤労の大切さ」また, 「豊かな心の育成」を目的に活動している。

⑥参加者数・属性推移

平成18年度 美馬市木屋平小学校5, 6年生 全員 (9人) 及び保護者

⑦経費

経費 : 約55, 000円 (参加者負担はない。)

補助金 : 美馬市補助金 (50, 000円) (※県の補助金を受けた事例もある。)
2年前からは, 補助金の活用はない。参加者自ら負担している。

⑧具体的な取組内容

概要（関係者の連携方法・地域との関わり等含む）

木屋平花卉生産会は、徳島県のほぼ中央に位置する徳島県美馬市木屋平の中尾山（標高300～1,000m）で、夏季冷涼な気候を活かし、宿根かすみ草やカーネーション、小菊等を栽培している。

毎年、地元小学校5、6年生（保護者も）を対象に体験学習として、地元で生産される花を利用した「フラワーアレンジメント体験」を実施している。

アレンジメントを成功させるために、生産会では、臨時的に会を開き、小学校、役場、農業支援センターらと打ち合わせをし、生産会自らが中心となって調整を行っている。



アレンジメントをただ行うだけではなく、体験時は、実際の栽培ほ場を訪れ、栽培方法や苦勞している点、また、生産する喜び等について児童に話をしている。ほ場見学後は、地元の野菜等を使った昼食をみんなで食べながら、農業のことや地域のこと等、様々な話をしながら教育をしている。その後、アレンジメントを実施し、生産会員が先生となって

花の美しい見せ方等を指導し、「花を生ける喜び」、「心の安らぎ」を学童や保護者に感じてもらっている。

⑨これまでの成果（参加者の反応を含む）

学童からは、「地元でこんな花が栽培されていたなんて知らなかった。」「花って、きれい。」等、良い感想が返ってくる。

学校に帰って、楽しく花壇に花を植えたりするようになり、感情も豊かになってきている。

ほ場見学時には、積極的に疑問点等を質問するようになり、「攻め」の心も育っている。

⑩今後の構想、課題

木屋平花卉生産会員も、高齢でだんだん面積等も減少している。後継者もない。

産地を守るためにも、今後も引き続き、学童や保護者を対象にした体験学習を開催し、豊かな心を持った人間に成長してもらい、産地を維持して行きたい。



⑪その他